

## 第30回 AIU 高校生国際交流プログラム (7月17日～8月8日)

主催：AIU 高校生国際交流プログラム実行委員会

高校生外交官として特色類型3年生の生徒が選拔され、7～8月に実施された3週間の米国でのプログラムに参加しました。その体験を9月の全校集会でプレゼンしてもらいました。NYやDCそしてプリンストンでの貴重な体験談に、全校生が聞き入りました。

プログラムの詳細は <http://www.highschooldiplomats.org/contents/hsd-report.html> をご覧下さい。



### 後輩へのメッセージ

Exchange 中の10日間で、ルームメイトと衝突したり、問題を抱えることもあります。しかし、言語や文化の壁を乗り越え築いたひとつひとつの小さな友情こそが、未来の世界での大きな異文化理解へと繋がるのではないのでしょうか。そしてその人間交流を達成することこそが、私たち高校生外交官に課された使命なのだと思います。常に時間を共にするルームメイトという一人の人間と深く関わり、それぞれがそれぞれのベクトルで輝いている79人の仲間と出会うこと、様々な価値観を共有し受け入れあえること...書き出すときがありませんが、HSDでだからこそ得られるものは沢山あります。私も、それらを通しインスパイアされ、チャレンジしようと全力になることができ、自分自身成長できたと感じます。

また、就活する際、なりたいものからなれるものへのブレイクダウンが少なくはない人々に起こり得る中で、夢が近く、そして夢に近くあろうと努力する仲間に出会えたことで、私の将来の道への思いもより一層強くなりました。HSDでの経験は必ず人生を変えてくれます。この夏、そして出会えた仲間は私の原動力です。風を掴みたい、自分を変えたい、そう思った人、ぜひ高校生外交官にチャレンジしてください。英語力など、何かで躊躇ってしまう人もいるかもしれませんが、でも、大切なのは“思い”!!! 怖がらずに踏み出した一歩が必ず自分を変えます! ぜひ頑張ってください。

## 「JENESYS2016 日本中高生訪韓事業」 (10月2日～8日)

主催：外務省、日韓文化交流基金、韓国教育部、韓国国立国際教育院主催

1年生女子1名が参加しました。期間中、台風18号が韓国南部を襲いましたが、訪韓団の行程には影響はありませんでした。

研修内容：オドゥサン統一展望台・ソウルタワー見学、国立国際教育院、景福宮、明洞、ユハン工業高校、ホームステイ、武寧王陵、韓服体験、山清韓方薬草祭、晋州南江流灯祭、晋州教育大学、韓国舞踊体験など

私は、今回の訪韓を通して、学んだことがありました。それは、日韓関係についてです。韓国の高校生と交流をして、そして韓国人と関わってみて、感じたことがありました。私は、韓国を訪れる前、韓国には反日家が多いのだろうな、大丈夫かな、と不安に思っていました。しかし、韓国に来てみて、出会った人たちは、みんなあたたかくて、優しくて、とても安心し、また驚きました。そして、自分の愚かさに落胆しました。テレビ番組や、インターネットニュース等のマスメディアによる情報だけを信じて、実際に、自分が韓国へと足を踏み入れたこともないくせに、勝手に思い込んでいたのだと。そして、そんな人が私以外にも多くいたら、それは違うと言えるように、現地で学んで、情報を発信しなければならないと思いました。

また、戦争の時の日本の印象は、きっと良い印象ではなかったと思います。80代、90代、そのまた上の世代の韓国の方々には日本語教育を受けた人たちだと思います。今回のプログラムには、そのような人たちから当時の様子を聞くということはありませんでした。しかし、日韓関係をより良くするためには、昔のことを今でも引きずってしまうのではなく、しっかりと二国が話し合い、解決することが大切なのではないかと思いました。目を背けたくなるようなことから逃げていては、全く状況は変わらないと思います。

どちらにしろ、思うだけ、感じるだけでは、何も変わりません。私が、韓国で学んだことや肌で感じたことを発信し、行動に移し、難しいことでも、小さなことから始めることが大切なのです。今回、この機会を用意してくださり、そして運営に関わった全ての人に感謝し、学んだことをこれからの人生に生かしていきたいと思っています。

## 「平成28年度中国・海南省との高校生交流事業」 (11月2日～9日)

主催：県教委、中国海南省教育厅

海南師範大学附属中等学校の李乗安君を本校2年生の生徒がホストと受け入れました。学校生活を共にしました。また期間中、引率団の海南省教育厅・海南中学・海南華僑中学・海口市第一中学高の4名の方の視察を受けました。



## 「EU があなたの学校にやってくる」(11 月 14 日) 2 年生全員

クロアチア共和国大使 ドラジェン・フラスティッチ氏にお越しいただき、EU の歴史や、役割・取り組みなどについて講義していただいた後、「大使に直撃インタビュー」ではさまざまな質問に答えていただきました。その様子は、サンテレビの夕方のニュースで報道されました。



感想：

「クロアチアという国名しか、知らなかったが、日本とも関係が深いことや、美しい自然や歴史など魅力的な国であると認識を新たにした。」「難民問題など、各国が協力して解決策を見いだそうとしていることがわかった。」「イギリスの脱退のニュースがあったのでマイナスのイメージがあったが、加盟したい国も多いことを思い起こさせられた。」「多様な国を一つにまとめあげるイメージがあったが、多くの言語を共通語と認めるなど、多様性をそのまま包含する制度が興味深かった。」「国境など、島国である日本ではピンとこないようなことを身近に感じ、考える機会であった。」「今まさに世界情勢が変わりつつある中で、EU を知ることは絶対に必要であると思う。」「世界情勢をきちんと追っていくためにも、国同士の結びつきについてもっと知る必要があると改めて感じた。」



## 「国際理解講演会」(12 月 13 日) 1・2 年生全員

JICA 関西国際センター所長である大西 靖典氏にお越しいただき、「日本の ODA 概要と新たな役割」と題して講演していただきました。講演後の質疑応答の時間には、多くの質問の手が挙がり、その一つ一つに丁寧に答えていただきました。



大西さんは本校の OB でもあり、母校での講演の様子が NHK の夕方のニュースで報道されました。

### 感想 (抜粋)

「日本が税金で行っている開発援助がどのようなものかよくわかった。」「日本が発展途上国を支援する理由の一つとして恩返しの意味合いもある、というお話が印象に残った。」「現地の人を雇う、というだけでなく、教育をしながら開発を進めているという話を聞いて誇らしく思った。」「日本がこれからの国際社会でどのような役割を果たすべきなのかを改めて考える機会となった。」「現地のニーズをすくい上げる重要性がよくわかった。」「他国と比較して、日本は GDP にしめる ODA 予算の割合の低さにおどろいた。」「プロジェクトや支援を通して、人と人、国と国のつながりができるのはすばらしいと思った。」